

地域連携室



当院の地域連携室では、医療ソーシャルワーカー（MSW）を配置しており、当院を利用される皆様・地域の方々から療養生活上の様々なご相談に応じています。又、他機関・施設との連携についても担当しております。
当院への入院相談は地域連携室でお受けいたします。

医療機関の皆様へ

お急ぎの患者さまにつきましては、当院田中副院長に直接お電話をいただき、診療情報提供書のFAXをお願いいたします。

地域連携室 直通FAX：(011) 685-2302

交通のご案内

JR函館本線 稲積公園駅下車 徒歩8分

JRバス 地下鉄東西線 宮の沢より 「宮49-1・宮79-1」 ていねプール前 下車
「宮49・宮79」 稲積公園前 下車
JR函館線 手稲駅北口より 「宮49-1」 ていねプール前 下車
「宮49・宮49-1」 稲積公園前 下車



URL <http://www.inazumi.or.jp>

〒006-0813 札幌市手稲区前田3条4丁目2番6号 TEL(011)685-2200 FAX(011)685-2244



医療法人社団 アルデバラン
手稲いなづみ病院



手稲いなづみ病院は、手厚い医療・看護介入が不可欠で、急性期から慢性期への移行が困難な医療依存度の高い重度障害者や重度意識障害者などの患者さまを積極的に受け入れる機能に特化した病棟運営を行なっています。特に人工呼吸器から離脱できない患者さまや人工透析を必要とする患者さまの入院にも対応しております。

外来機能はこれまでの機能を維持しつつ、利便性の高い診療を提供できるよう、夜間診療を行なっています。

基本理念

“アルデバランから新しい医療の風を”

急性期から慢性期医療への橋渡しの存在となる医療機関を目指します。
医療依存度の高い患者様の期待に応えうる医療を提供します。
小規模多機能な内科単科病院として進歩していきます。

基本方針（6S）

- Smile アルデバランのように暖かい心、笑顔で接します。
- Service 医療従事者として常に奉仕の精神を持ち続けます。
- Safety 医療事故撲滅のため医療安全に積極的に取り組みます。
- Standard 原点に立ち返り、アルデバランならではの診療体制を構築します。
- Speciality アルデバランならではの小規模多機能でありながらも専門性を高めます。
- Stepup 次世代へ繋ぐ医療を展開します。アルデバランから新しい風を起こし医療制度改革を進めます。

病院の概要

●所在地：〒006-0813 札幌市手稲区前田3条4丁目2番6号
電話(011)685-2200 FAX(011)685-2244

- 理事長・院長：齊藤 晋
- 副院長：岡本 聡
- 副院長：田中 紳太郎
- 副院長：中泉 允行
- 診療技術部長：伊藤 拓
- 診療部長：小野江 和之
- 顧問：松嶋 喬
- 診療科目：内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科
リハビリテーション科、人工透析
- 診療時間：平日 9:00~12:00
13:00~17:00
土曜日 9:00~12:00

●許可病床数：一般病床80床（障害者施設等2 10:1入院基本料）人工透析8床



夜間診療
火木曜日 17:00~19:00

病棟機能

当院は厚生労働大臣が定める「障害者施設等入院基本料」の承認を受けております。病棟機能といたしましては、急性期・亜急性期・教育等の入院はもちろんのこと、特に急性期から慢性期への移行が困難な医療依存度の高い重度障害者や重度意識障害者に対応する機能を持つ一般病床です。



【施設基準】

- 基本診療料の施設基準
 - 障害者施設等入院基本料 2 (10:1)
 - 特殊疾患入院施設管理加算
 - 療養環境加算
 - 診療録管理体制加算
 - 患者サポート体制充実加算
 - 退院調整加算
 - 医療安全対策加算 2
 - 救急搬送患者地域連携受入加算
- 入院時食事療養の施設基準
 - 入院時食事療養 (I)

- 特掲診療料の施設基準
 - 薬剤管理指導料
 - 無菌製剤処理料
 - CT撮影及びMRI撮影
 - 医療機器安全管理料 1
 - 検体検査管理加算 (I) (II)
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)
 - 運動器リハビリテーション料 (I)
 - 呼吸器リハビリテーション料 (I)
 - ニコチン依存管理料
 - 肝炎インターフェロン治療計画書
 - 透析液水質確保加算 1
 - 輸血管理料 II
 - 輸血適正使用加算

人工透析

当院では人工透析（8床）を行なっております。安全で快適に透析医療を受けていただけるように取り組んでいます。外来透析はもちろん、人工呼吸器装着や重症度の高い患者さまの入院透析にも対応致します。



透析実施日 月・水・金 午前/午後
火・木・土 午前

詳細については地域連携室までお問い合わせ下さい

リハビリテーション

医師、看護師、MSW等と連携をとりながら入院患者さまを中心にリハビリテーションを実施しています。

- 【施設基準】脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)
- 運動器リハビリテーション料 (I)
- 呼吸器リハビリテーション料 (I)

- 【職員体制】理学療法士 3名
- 作業療法士 1名
- 言語聴覚士 1名



主な検査・医療機器

■画像診断装置：CTは16列のマルチスライスCTを採用しています。薄いスライスで精密に、速く、きれいに撮影することができます。MRIも速く、きれいに撮影できる装置を採用し、患者さまの負担が軽減されています。



- エコー（超音波検査）：心臓、血管、腹部
 - 甲状腺と広い範囲の検査を行っており例えば頸動脈エコーでは壁の厚みやプラークの有無を観察することで簡便に動脈硬化の評価を行うことができます。異なった特長を持った装置によるこれらの画像検査を組み合わせることにより診断能をより向上させています。
- 内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）：ハイビジョン視鏡システムを導入し、経鼻内視鏡を含めた上下部の内視鏡検査を行っています。日本消化器内視鏡学会の専門医をはじめとする経験豊富なスタッフが検査にあたり、正確かつ安全な検査に務めております。また、大腸ポリープ切除や経皮内視鏡的胃ろう造設（PEG）を積極的に行っています。

■動脈硬化度検査（CAVI・ABI）：痛みを伴うことなく簡単に動脈の硬さやつまり具合を調べます。数値を解析することで血管年齢もわかります。また頸動脈エコー検査と組み合わせることにより詳細な動脈硬化度を調べることができます。

■肺機能検査：息切れ、咳や痰が持続するなど、肺の病気が考えられる時に行ないます。肺の容積や、空気を出し入れする気管支の太さなどの肺機能を測定し、肺の病気の診断や重症度・治療効果判定に役立てています。

■呼気一酸化炭素濃度検査：禁煙外来受診の際に毎回測定します。禁煙を持続するにつれ、数値が下がってきます。ヘビースモーカーは25ppm以上、ノンスモーカーは0～5ppmです（ちなみに大気汚染の上限値は10ppmです。）